

日本種苗新聞

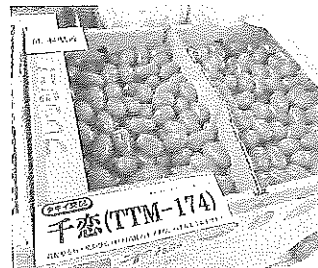
地域野菜もご披露

第166回 九州から情報発信

青果育種研究所の「い」や「博多かつを菜」第166回品種見本市は、2月27日、北九州中央卸売市場内の乳北物流拠点「Marukita Logistics Base」(通称「ロジベース」)で開かれ、種苗メーカー8社、鮮度保持メーカー1社が出展した。いす押し品種として地元福岡の中原探種場は温帯な気候で栽培されている早太りタカナ「早太り湖南児菜」(中原探種場)と、いす押し品種として



「早太り湖南児菜」(中原探種場)



ミニトマト「千恋」(タキイ種苗)



「タネなっぴ」(横浜種本)

甘さを強調した「MTX1060」など、ともに黄化葉萎縮病耐性品種を来季以降の種子発売予定に先立ちPRした。横浜種本はタネをなくした「ピーマン」(タネなっぴ)、「雷印種苗」は茶豆風味のエタマメ「味風香」を中心に展示。カネコ種

苗は「カボチャ」(恋するマロン)をどうでも安定した味わい「ラブピル」を味わう。中原探種場は「早太り」(早太り湖南児菜)の1株重量は3〜4kg、主茎と側茎に着生する20〜30gのわき芽を食べる。独特の辛みと食感がある。天ぷらや炒め物に向く。

「タネなっぴ」は「単うな新食感のミニトマト」(タネなっぴ)の性質をもち、「CFプチぶよII」は「ポリポリと、スナック感覚で食べられる。適度に弾力があり、ほぐすと食感がよい」と好評。適度なゼリー感があり、割れも発生しにくい。

種がない「ピーマン」の「味風香」(雷印種苗)は「単うな新食感のミニトマト」(タネなっぴ)の性質をもち、「CFプチぶよII」は「ポリポリと、スナック感覚で食べられる。適度に弾力があり、ほぐすと食感がよい」と好評。適度なゼリー感があり、割れも発生しにくい。

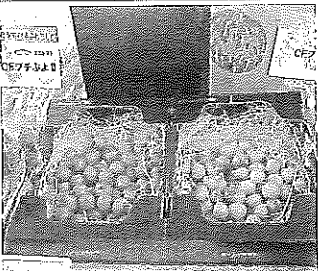
「味風香」(雷印種苗)は「単うな新食感のミニトマト」(タネなっぴ)の性質をもち、「CFプチぶよII」は「ポリポリと、スナック感覚で食べられる。適度に弾力があり、ほぐすと食感がよい」と好評。適度なゼリー感があり、割れも発生しにくい。

「サカタのタネ」は「単うな新食感のミニトマト」(タネなっぴ)の性質をもち、「CFプチぶよII」は「ポリポリと、スナック感覚で食べられる。適度に弾力があり、ほぐすと食感がよい」と好評。適度なゼリー感があり、割れも発生しにくい。

「サカタのタネ」は「単うな新食感のミニトマト」(タネなっぴ)の性質をもち、「CFプチぶよII」は「ポリポリと、スナック感覚で食べられる。適度に弾力があり、ほぐすと食感がよい」と好評。適度なゼリー感があり、割れも発生しにくい。



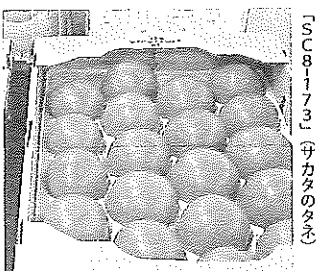
「恋するマロン」(カネコ種苗)



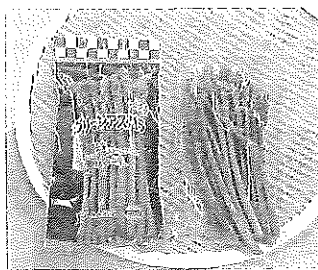
ミニトマト「CFプチぶよII」(渡辺探種場)



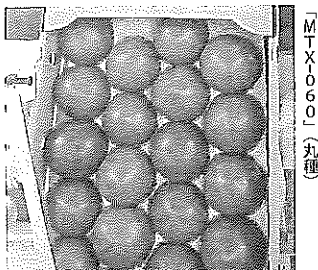
「味風香」(雷印種苗)



「SC8173」(サカタのタネ)



鮮度保持フィルム「P-プラス」(住友ベークライト)



「MTX1060」(丸種)

玉の作りやすい大玉トマト「SC8173」は早生で草勢が強く、多収。裂果、空洞果の発生が少ない。節間が伸び、日差しが良く入ることで越冬栽培に向く。

雷印種苗
茶豆風の香りのエタマメ「味風香」は甘み成分の「シロシロ」うま味成分の「アラン」の値が高い。大袋で実入りがよく、食べごたえがある。エタマメの消費が少ない九州でのPRに力を入れている。

丸種
黄化葉萎縮病耐性の甘味が強い大玉トマト「MTX1060」の草勢は中庸で安定している。節間はやや短めで、栽培しやすい早生品種。1果重は200gの中玉程度でよく揃う。

住友ベークライト
鮮度を保持するフィルム「P-プラス」は、包装内の空気を「低酸素・高二酸化炭素」にして、青果物の呼吸とのバランスを取り、成長と劣化を遅らせる。